

1 月期相場概況

1 月期の日経平均株価は約 865 円下落した。期中の高値は 1/7 の日中高値 9,325 円、安値は 1/26 の終値 7,671 円。

1 月期の日経平均は昨年末からの強い地合いを引き継ぐ形で上昇して始まった。日本の年末年始休暇中も NY 市場は上昇を続け、一時 9,000 ドル台を回復するなど堅調で、またドル円をはじめとした為替市場もこれを受けて円安が続いたことで、大発会後も日経平均は続伸し、9,000 円台を約 2 ヶ月ぶりに回復し、1/7 までに 7 連騰した。1/8 には米国 ADP 雇用統計の悪化を受けて、楽観モードが修正されることになり 8 日目でようやく反落となった。9 日には海外株安・円高・インドの不正会計などを受けて、悪材料に押される形で日経平均は再び 9,000 円を割り込んで引けた。その後は期待されていたオバマ就任を待つことなく世界的に株は下落を始め、同時に日本株の想定以上の下方修正ラッシュが相次いだことにより、日本株は大幅下落。日経平均は 1/26 に 7,600 円台をつけた。初旬の高値からこの安値までの値幅は 1,800 円近いもので、激しい動きとなった。その後はアメリカ株が大台 8,000 ドル近辺で踏みとどまっていることや、為替も比較的落ち着いた動きを続けていたことから、日経平均は 8,000 円から上下 200 円の狭い揉み合いを続けながら今期を終えた。

リンカーン・インヴェストメント株式会社